

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2019年度 第3回短期大学会議教育改革ICT運営委員会議事録

- I. 日時 令和元年8月22日(木) 13:00~15:00  
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室
- II. 出席者 戸高委員長、早坂委員、三田委員、西岡委員、後藤委員(ネット)、大重委員(ネット)  
(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

1. 2019年度短期大学教育改革ICT戦略会議の進め方と運営等について

(1) 短期大学による地域貢献支援事業の構想案の決定

前回の討議とその後の小委員会における検討を踏まえ、全体討議で提案する「地域貢献活動の支援モデル構想案」及び、具体的な進め方と運営開催内容について検討を行い以下のように決定した。

- (1) 「地域貢献活動の支援モデル構想案」提案の趣旨を、短期大学の特長である「地域に根差した短期大学生の社会実装教育」の支援を目的とすることを明記することにした。
- (2) 2020年度の試行を目指す短期大学による地域貢献事業案として、①高齢者との交流を促進し課題の解決策を導き出す支援事業、②地域価値を発見・発信する支援事業、③地域課題のアーカイブと解決に向けた取組みを共有する支援事業、④自治体のイベント動員を支援する事業などとする事にした。
- (3) 「支援事業の意義と期待される効果」としては、短期大学生の社会に貢献したいと言う精神、自由な感性や発信力を育み、分野横断的な学びを通じて学修成果を社会実装につなげる機会であることと、特長を生かした短期大学の存在をアピールできることとした。
- (4) 「課外学修の仕組み」としては、①自発的な意思による社会での体験を通して知識や理解を深めるサービ斯拉ーニング(仮称)の選択科目として単位認定する、②在学中に同一の支援事業に複数回参加できるように複数科目群として開講する、③自治体等との連携は、本協会と有志短期大学の双方で役割を分担して行う、④地域支援活動はスマホ等を活用し、映像化して問題提起や課題解決に向けた提案の根拠資料とするとともに活動成果をwebに掲載し、短期大学間で学生のための動機づけ教育コンテンツとして活用できるようにすることとした。
- (5) 「プラットフォームの環境と運営」については、有志の短期大学間で蓄積した情報を共有し、低廉な費用で短期大学が管理するLMS等に分散蓄積できることを目指すし、引き続き小委員会で検討することとした。
- (6) 「有志短期大学の役割と情報環境の準備」については、①教職員の連携体制の確保、②自治体と短期大学との連携・接続の推進、③協力いただく高齢者・施設の確保、④ネット環境、⑤録画した映像をwebサイトに掲載する許諾が必要であることとした。

(2) 全体討議の具体的な進め方と運営手順について

全体討議は今回決定した「地域貢献活動の支援モデル構想案」に基づく議論を行うこととし、運営等は前回会議のとおりとすることを確認した。

2. 短期大学教育改革ICT戦略会議への参加呼びかけ、動員について

引き続き、ネット参加者を含め参加対象者に対し参加呼びかけを行う。委員は所属大学ほか関係する教員への情宣を行い、事務局も対象短期大学の教職員に参加案内を行うなど当日参加を含め可能な限りの対応を行うことを確認した。

3. 今後のスケジュール、その他

運営委員は、9月6日(金)12時に短期大学教育改革ICT戦略会議の控室に集合し、事例紹介者、シンポジウム及び全体討議の運営参加者と当日の具体的な運営について事前打ち合わせを行うこととした。

以上